

# ボランティアセンターだより

211号  
2026年8月



## ふらっと縁日



みんなで楽しむ「ふらっと縁日」を開催！

ゲームや体験コーナー、おいしい冷たい食べ物など、お楽しみが盛りだくさん。お子さんから大人まで、どなたでも気軽に参加できます。お友達やご家族、ご近所のみなさまとお誘い合わせのうえ、ぜひ遊びに来てください！

【日時】8月29日（土）14：00～16：00

【場所】ふらっとほうむ（南あわじ市市市 227-1）

【内容】ミニゲーム（輪投げ、的あて、スーパーボールすくい等）、多肉植物寄せ植え体験、ポップコーン、かき氷など

※車は、JA あわじ島市経済センターにお停めください。



## じんけん

## サマーフェスティバル



遊んで、体験して、学べる「じんけんサマーフェスティバル」。さまざまな団体の活動紹介や体験コーナー、講演会を通して、人権をより身近に感じられるイベントです。

【日時】8月23日（日）10：30～

【場所】市地区公民館

【内容】各種団体による体験・遊びコーナー、物品の販売、歌手・米良美一氏による講演など

【問合せ】南あわじ市教育委員会 生涯学習課

（☎ 0799-43-5038）



この事業の一部は赤い羽根共同募金の配分金を活用し実施しています。



## 企業向け福祉学習で広がる理解と気づき ユニバーサルなおもてなし

アワジ花ホテルで、車いす利用者の船越奈美さんをアドバイザーに迎え、従業員のみなさまを対象とした福祉学習を実施しました。船越さんと一緒に館内を移動し、客室やトイレ、エレベーターなどを実際に利用しながら、当事者の視点で感じる使いやすさや課題を確認しました。また、外出先で困ったこと、配慮されてうれしかった経験なども交えたお話に参加者は熱心に耳を傾けていました。

相手が困っていることに気づき、一人ひとりに寄り添いながら工夫を考えることは、誰もが安心して利用できる環境づくりにつながります。従業員のみなさまからは「少しの声掛けや気配りが安心につながることを実感した、これからの接客に活かしていきたい。」といった声が聞かれ、誰もが安心して利用できるホテルづくりについて考える機会となりました。



南あわじ市社協では学校だけでなく、企業、事業所を対象にした福祉学習も行っています。障がい当事者との交流、車いすや高齢者疑似体験など、職場や業種に応じた内容で実施しています。福祉の理解を深めることは、お客様へのより良い対応につながるだけでなく、誰もが暮らしやすい地域づくりへの一歩にもつながります。福祉学習にご興味のある企業様、事務所様はぜひご相談ください。



【発行】南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 南あわじ市広田広田 1064

【電話】44-3007 【FAX】44-3037

【メール】info@minamiawaji-shakyo.or.jp



@MINAMIWAZI\_SHAKYO



@FLAT\_HOUMU



## 南あわじ市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターだより

登録サロン数  
98か所  
(R8.7月現在)



地域の想いをカタチに ～地域福祉フォーラム発表のその後～

### 永田邸から広がる地域のつながい 地域の縁を育み みんなでつくる交流の拠点



今年3月に開催された地域福祉フォーラムで、「永田邸をみんなが集う場にしたい」と発表した中本さん。その思いはフォーラム後も着実に形となり、新たなつながりを育んでいます。



現在は、子どもたちが自由に遊べる「ちびっこ遊ぼうDAY」や各種ワークショップの会場として永田邸を開放するなど、世代を超えて人々が集う場づくりに意欲的に取り組んでいます。また、災害時の水源確保を目的に住民とともに井戸掘りを行うなど、防災を身近なテーマとして考え、語り合う機会づくりにもつながっています。

さらに蔵の整理を進める中で、歴史ある書物や骨董品など、価値ある品々も見つかりました。中でも永田秀次郎にまつわる資料は、この地に受け継がれてきた歴史や文化の重みを感じさせるものであり、永田邸の歩みの深さを改めて教えてくれます。

人が集い、歴史に触れ、防災について考えながら地域の未来を語り合う。永田邸は、人と人を結び、地域の魅力を次の世代へつないでいく拠点として、これからも新たな可能性を広げていきそうです。



### 「合同会社 FUKIAGE」設立

地域の持続可能な未来へ 自治会の新たな一歩



「このままでは地域を維持できなくなる。」

(<http://ama-fuki.com>)

そんな危機感から生まれたのが、阿万地区吹上町自治会が100%出資する『合同会社 FUKIAGE』です。少子高齢化や人口減少が進み、キャンプ場の受付や清掃を担う人材の確保が難しくなる中、地域住民自らが立ち上がり、課題解決に挑戦しています。

同社は、今年4月から南あわじ市より吹上浜キャンプ場の運営を引き継ぎました。淡路島でも歴史あるキャンプ場には60区画の広々としたサイトがあり、多くのキャンパーが訪れています。収益は自治会へ還元される仕組みとなっており、将来的には自治会費の負担軽減も期待されています。鈴木代表は「自治会費ゼロも夢ではありません。」と話し、地域再生への思いを語っています。



会社設立を支えたのは、経営経験を持つ自治会長である鈴木氏、移住してきた行政書士の田畑氏、そして地元の若手農業者である阿部氏という異なる立場の3人の出会いでした。今後は空き寺となった『大日庵』を宿泊施設として活用する構想も進めています。目指しているのは、高齢になっても安心して暮らせる、そして“移住したくなる地域”です。『合同会社 FUKIAGE』の挑戦は、住民主体の地域づくりの新たなモデルとして、注目されています。

★ふれあい・いきいきサロン活動のご相談は、生活支援コーディネーターへ★  
南あわじ市社会福祉協議会 ☎ 0799-44-3007

